

～ 防災教育に関する映画鑑賞会の感想 ～

『神戸新聞の7日間』を鑑賞し、その後の講演を聞いた上での感想を書いてください。

普通に考えたらもし大きな地震にあった時第一に考えるのは自分や家族、友人などのその人にとって一番身近な人のことだと思います。ですがその当時の神戸新聞の職員の方々は第一に情報を伝えようとしていてその中で嬉しいことや悲しいことがあって一生懸命に情報を被害にあつた人に届けようとしていて大変な時でも人のために動けるのはすごいと思いました。私たちは地震について学んでいていろいろなことを知っているかもしれないけど被害にあつた方々の気持ちばかりがわからないことだと思っていて自分ができることをしていけたらいいと思いました。

年 組 番 名前

～ 防災教育に関する映画鑑賞会の感想 ～

『神戸新聞の7日間』を鑑賞し、その後の講演を聞いた上での感想を書いてください。

今回の講演で地震の恐ろしさを学びました。今まで阪神・淡路大震災は大きな地震というイメージばかりでしたが、しかし今回被災者の苦しみがよく分かりました。もし自分が被災者になったらと思うと本当に心がいたみます。その中で被災地の現状を伝え続けた神戸新聞さんはすごいと思います。自分たちも被災者なのに家族を亡くしたのによく伝えられたと思います。知識があれば生き残れるという言葉が一番心に残りました。これからはもしものためにいろいろな知識を身に付けようと思いました。

年 組 番 名前

～ 防災教育に関する映画鑑賞会の感想 ～

『神戸新聞の7日間』を鑑賞し、その後の講演を聞いた上での感想を書いてください。

小学の時から阪神・淡路大震災のことはよく聞いていたけれど、
こういう講演や映画を見る機会はあまりなかったのでも、
すごくつらいことだったと思われ知らされたし、お話しを聴い
て、知っていることのもっと深いことが知れどともよかったです。
いい体験になりましたなと思いました。
こんなに大きい地震は体験したことがないから「つらそう
だな」「大変だな」としか思えなかったけど、実際にこうなるか
かわらないと考えるとすごく怖いです。
このことをもっと伝えていかなければと思いました。

年 組 番 名前

～ 防災教育に関する映画鑑賞会の感想 ～

『神戸新聞の7日間』を鑑賞し、その後の講演を聞いた上での感想を書いてください。

最近 災害時の人災に対して確然と、あまりいい印象は
ない、たけど、これは本当の人災で、思っているより
なごいかならぬと思いました。本当にいつ見ても災害時
の写真や映像は驚かされてみえん、自分達は、まだ
大きな地震や災害にあつたことではないので不安
は残りませんが、死んでおられる方々、色々調べた
方がいいなと、思いました。自然災害もなく人は
無理して、痛ましい出来事や、少しでも涙、よく木を
さすの、おたふと見出す。

年 組 番 名前

～ 防災教育に関する映画鑑賞会の感想 ～

『神戸新聞の7日間』を鑑賞し、その後の講演を聞いた上での感想を書いてください。

改めて、阪神・淡路大震災の恐ろしさと大変さを知りました。
平和にいらしていた日常がたった一回の地震の影響でずい
ずい壊れる姿を見て、びっくりしました。同時に、とても悲しくなり
ました。しかし、そんな状態の中だけでも最後まで必死に新聞を
書き続ける神戸新聞さんの姿は、強い方と思いました。
地震の影響で交通面や生活面が困難になっているのが
京都まで新聞を届ける姿はほんとうに感動しました。
阪神・淡路大震災という大きな出来事を忘れることだけは自分た
ちが絶対に避けられる番だと改めて強く思いました。

年 組 番 名前

～ 防災教育に関する映画鑑賞会の感想 ～

『神戸新聞の7日間』を鑑賞し、その後の講演を聞いた上での感想を書いてください。

震災の勉強や報道を毎年見ていて何気なく見てはいたけど、改めて、震災が
怖いと思いました。私の祖父母は西宮に住んでいて、その震災当時は、私と同じ
月の高校生が、私と話を聞きました。震災後は、学校が被害を受けていたのど、別の
高層ビルが被害を受けていたのを、臨時の学校に通った話を聞きました。祖父母は
此所の方と、お互いに大学としていた物と交換したと当時の話としてくれました。
祖父母の家は壊れはしなかったけど、震災の影響でドブの立て付けが悪く
なり、開まりが悪くは、なりました。体験していない方の理解の被害の大きさを突
感することはないけど、今の町並みと昔の震災当時の町並みとを比較したり、月に
震災を体験した大人がいるので話をちゃんと聞いておきたいと思いました。

年 組 番 名前

～ 防災教育に関する映画鑑賞会の感想 ～

『神戸新聞の7日間』を鑑賞し、その後の講演を聞いた上での感想を書いてください。

私は、震災のことも知っていたつもりでしたが 私が知っていたのは
わづかなことで、被害者たちのことを知りませんでした。この鑑賞
講演を通して 私は すごく心を動かされました。震災で人の手
が少なく助からなかった命も多かったと思います。けれどそんな中
一人一人が助け合い行動したこと、たくさんの方が安心でき
たと思います。私もその人たちを見習いたいと思いました。
震災のことを忘れたいため、震災のことを伝えていく必要
があると強く思いました。伝えることでみんなの心に残り
続け そのことがみんなの行動を変えようと思いました。

年 組 番 名前

～ 防災教育に関する映画鑑賞会の感想 ～

『神戸新聞の7日間』を鑑賞し、その後の講演を聞いた上での感想を書いてください。

今まで何度も震災のことについて話を聞いた。実際に神戸に行き、震災から復
興(1.街で震災の被害をこの目で見た)してきたけど、地震はいつとこ
でどんな規模で起こるのかわからない。自然災害だからこそ、度
経験した人々が語り継ぎを忘れたら...ようにして、次に起こったとき
のために、も防災グッズの準備、その時どのように自分自身は動くべきなのか
を学ぶ、被害をおさえるためにはも今自分たちができるのかを学んでいかなけ
ればならないと改めて強く思った。それに毎日いろいろな人が笑顔で暮ら
す未来のために、現在を変えて動かなければいけない若い世代つまり若者が行動
していかないといいと思いました。

年 組 番 名前

～ 防災教育に関する映画鑑賞会の感想 ～

『神戸新聞の7日間』を鑑賞し、その後の講演を聞いた上での感想を書いてください。

いさなり大きな地震が来て、家族の安全や、自分の命さえも分からない中で、神戸新聞の方々は、火死で自分たちの新聞を作りたいたいという思いが、今日まで残り
ました。新聞を作る機械が壊れても、同様の京都新聞にお願いもしたりと、災害を
越え、困った時は、お互い助け合っていて、その大切さを、すごく感じました。記者とい
うのは、今日のドキュメントにもあったように、シャッターを回すのはいい場面や、言葉が出ない
場面もたくさんあると思います。自分たちの新聞のために、自分ばかりでいいか
で、火死にしている姿に、すごく感動しました。最後に、震災を知らない僕たちを
受け継ぐという話がありました。本当にりの通りだと思いました。この頃、各地で色
んな地震などが起きているから、困った時は、自己助けあって生きていってほしいです。

年 組 番 名前

～ 防災教育に関する映画鑑賞会の感想 ～

『神戸新聞の7日間』を鑑賞し、その後の講演を聞いた上での感想を書いてください。

学校でこの「黙阿弥」をしたけれど、阪神・淡路大震災の事は知っていたけれど、
大きな地震だと言うのも知っていたけれど、改めて地震の怖さを知りました。
この一瞬にしてみんなが亡くなるのが凄くて、私自身も怖いなって思いました。
神戸、何も情報が分からない中で、神戸新聞が働いていて、火死に
記事を書き、新聞を届けてくれた。その日、目の前で、泣いていて、人を
見ると、悲しくなるのに、黙阿弥の遺体は、何のために働いていて、本当に
頑張った。神戸新聞の方々に、郵便の情報を伝えてくれたか
ら、少しは安心です。神戸新聞、地震の心と心を、人の郵便に伝えて
くれた人が、いなくなると、忘れられないと強く思いました。

年 組 番 名前